

# 新規学卒者に対する就職支援の強化

## ◎ 高卒・大卒就職ジョブサポーターの緊急増員による就職支援体制の強化

(平成21年度第2次補正予算：2.5億円、平成22年度予算(案)：29億円)

- 高卒・大卒就職ジョブサポーターを活用し、学校訪問等により未内定者の把握、求人開拓・求人情報の提供、個別の職業相談・職業紹介等の就職支援を実施。

		緊急雇用対策 (平成21年10月23日)	緊急経済対策 (平成21年12月8日)
高卒就職ジョブサポーター	474人	532人 (+58人)	779人 (+247人)
大卒就職ジョブサポーター	56人	86人 (+30人)	149人 (+63人)
合計	530人	618人 (+88人)	928人 (+310人)

## ◎ 就職面接会の積極的な開催

- 1月～3月末までに173回開催 (昨年同期の90回の約2倍)

## ◎ 新卒者体験雇用事業の創設 <2月から開始、雇入れ開始は卒業後> 【新規】

(平成21年度第2次補正予算：制度要求、平成22年度予算(案)：3.7億円)

- 未就職卒業者を対象に1カ月の体験雇用(有期雇用)を受け入れた事業主に対して奨励金(月8万円)を支給する制度を創設。(対象人員：5,100人(平成22年度末まで))

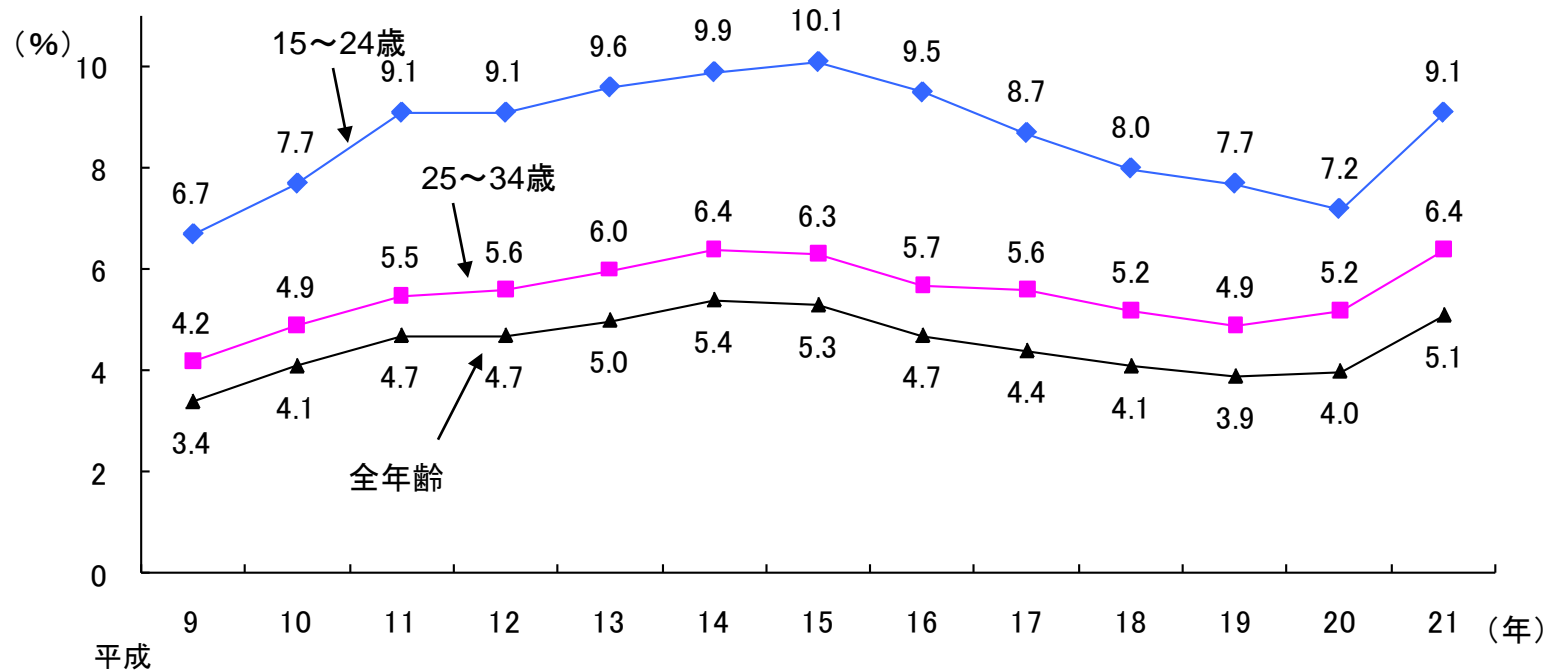
## ◎ 「未就職卒業者向け」職業訓練の実施及び訓練・生活支援給付の拡充 <3月末以降順次開始> (緊急人材育成支援事業の内数で対応)

- 緊急人材育成支援事業を活用し、未就職卒業者向け訓練コースを設置
  - 社会人としての心構えや就職に必要な基礎力の養成、主要な業界・業種での短期間の体験機会等を提供。(訓練期間：標準6ヶ月)
- 訓練・生活支援給付に係る対象者の拡充
  - 世帯年収300万円以下の未就職卒業者に訓練期間中の生活保障 10万円/月

# 若年者の失業率の推移

- 24歳以下の若年者の完全失業率は、平成15年以降5年連続で改善していたものの、平成21年には9.1%と、前年より1.9ポイント上昇。
- 25～34歳層については、平成21年平均が6.4%と、前年より1.2ポイント上昇。

## 完全失業率の推移



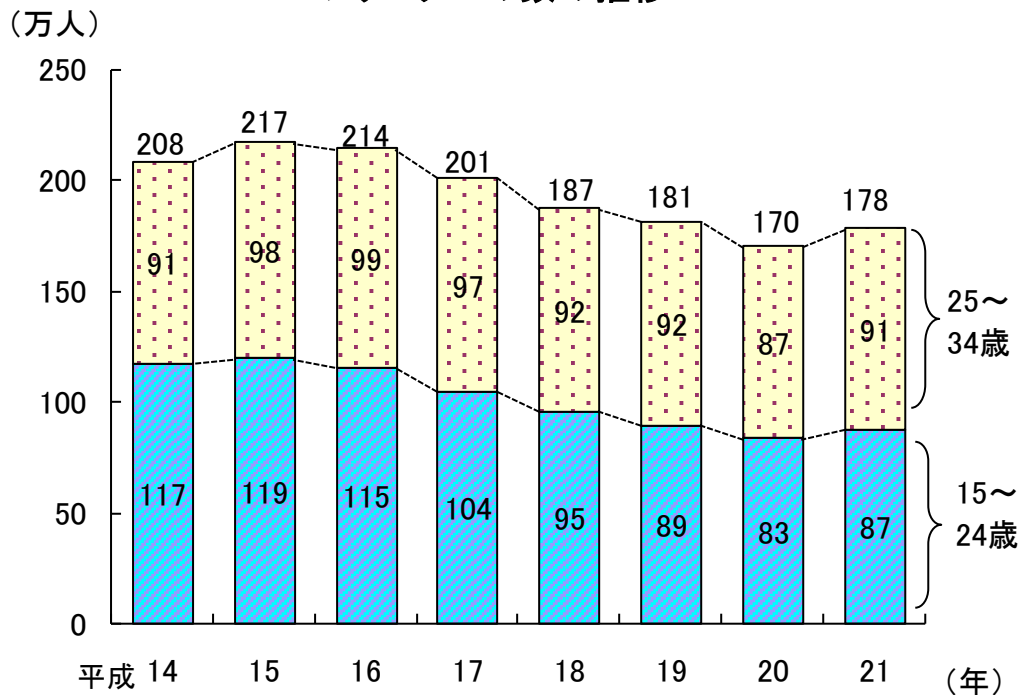
(資料出所) 総務省統計局「労働力調査」

(注) 完全失業率は年平均

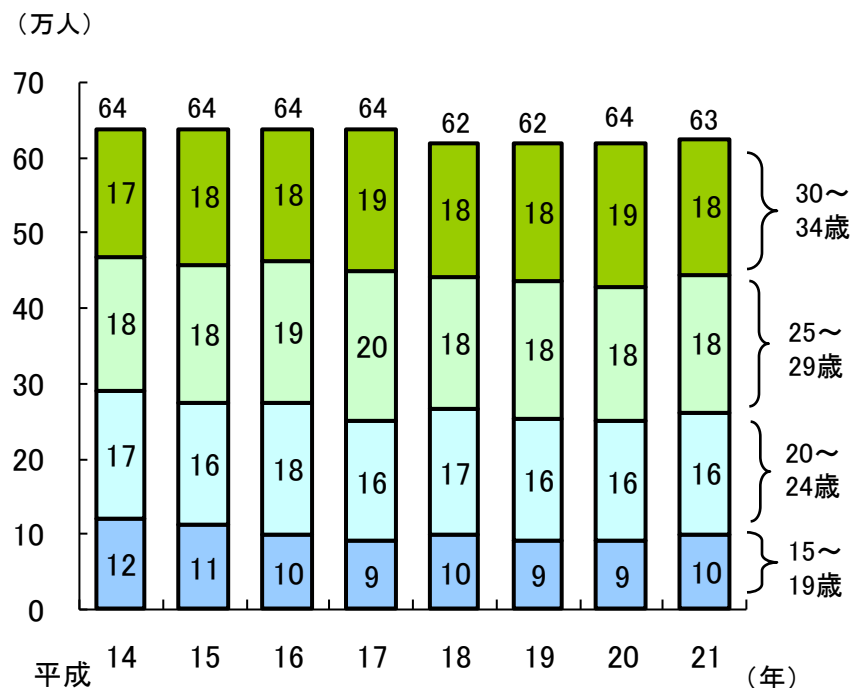
# フリーター・ニートの推移

- いわゆる「フリーター」の数は、217万人(平成15年)をピークに 5年連続で減少したものの、平成21年には6年ぶりに増加。(平成21年178万人)
- いわゆる「ニート」の数は、平成14年以降60万人強の水準で推移。(平成21年63万人)

## フリーターの数の推移



## ニートの数の推移



資料出所: 総務省統計局「労働力調査(詳細集計)」

(注) 「フリーター」の定義は、15～34歳で、男性は卒業者、女性は卒業者で未婚の者とし、

- 1 雇用者のうち勤め先における呼称が「パート」又は「アルバイト」である者、
- 2 完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者、
- 3 非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事・通学等していない者の合計。

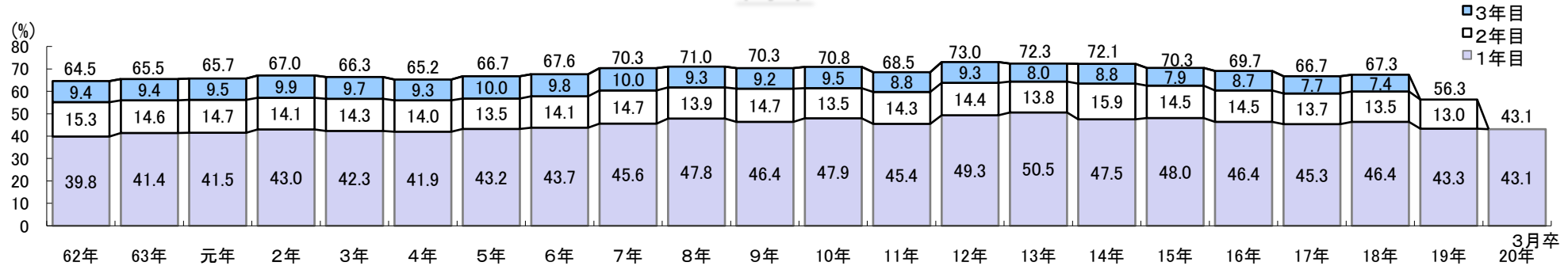
資料出所: 総務省統計局「労働力調査(基本集計)」

(注) 「ニート」の定義は、15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

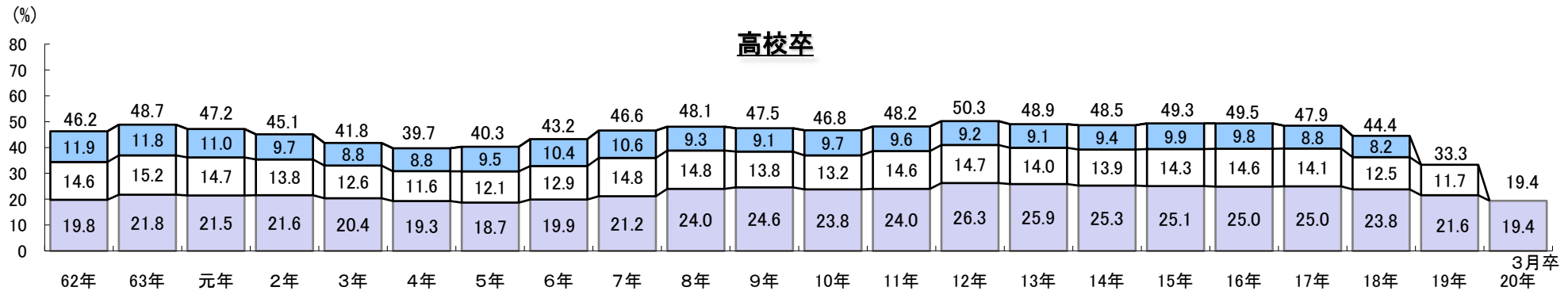
# 卒業後3年以内の離職率

○ 卒業後3年以内に離職する者の割合は、中学で約7割、高卒で約5割、大卒で約3割と高水準で推移している。特に1年以内の離職率が高くなっている。

## 中学卒



## 高校卒



## 大学卒

